

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり11.7人とやや減少していますが、まだ注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えています。

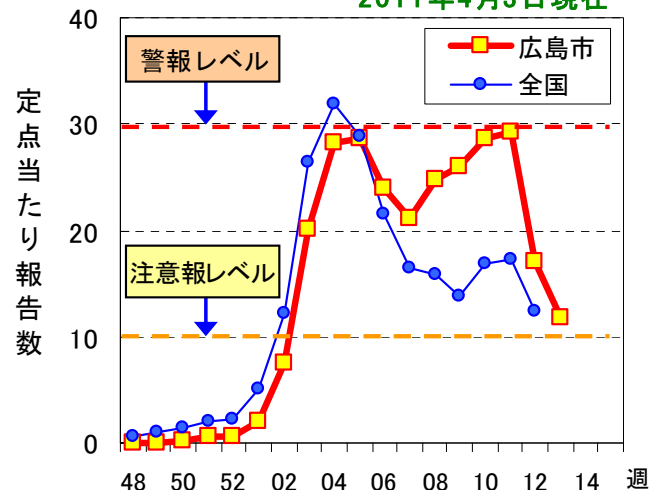
ここ数年、春休み後に再び増加し、小規模な流行が5月ごろまで続く傾向にありますので、今後の動向に注意が必要です。

なお、広島市衛生研究所の検査結果では、3月以降は、インフルエンザウイルスB型が主流になっています(次頁参照)。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり11.4人とほぼ横ばいで推移しています。基幹病院2か所による迅速診断キット検査結果では、ロタウイルスの検出数は、昨年同時期と比べると非常に多い状態が続いています。

手洗いの励行に心がけるなど感染予防に注意しましょう。

インフルエンザ
2011年4月3日現在

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)	発生記号
インフルエンザ	432	11.68	4.68	◀	ヘルパンギーナ	-	-	0.02	
咽頭結膜熱	7	0.29	0.30		流行性耳下腺炎	16	0.67	0.78	▶
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	1.33	1.58	▶	RSウイルス感染症	2	0.08	0.02	
感染性胃腸炎	274	11.42	9.03	▶	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.05	
水痘	29	1.21	1.68	▶	流行性角結膜炎	4	0.50	1.00	
手足口病	4	0.17	0.48		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	16	0.67	0.19	↑	無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
突発性発しん	11	0.46	0.55		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.37	
百日咳	1	0.04	0.16		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	8	60	女性(10歳未満)・2人、女性(10歳代)・1人、男性(20歳代)・1人、男性(40歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人
4	A型肝炎	1	1	男性(30歳代)
4	オウム病	1	1	女性(50歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第9週	964	12	41	310	37	8	14	9	1	1	19	3	-	2	-	-	3	-
		第10週	1,061	10	47	261	43	5	19	17	1	-	26	1	-	-	-	-	1	-
		第11週	1,081	7	44	286	40	3	13	9	3	-	14	4	-	3	-	-	2	-
		第12週	632	7	29	278	30	12	8	13	1	1	17	4	-	3	-	-	1	-
		第13週	432	7	32	274	29	4	16	11	1	-	16	2	1	4	-	-	1	-
定点当り	広島市	第9週	26.05	0.50	1.71	12.92	1.54	0.33	0.58	0.38	0.04	0.04	0.79	0.13	-	0.25	-	-	0.43	-
		第10週	28.68	0.42	1.96	10.88	1.79	0.21	0.79	0.71	0.04	-	1.08	0.04	-	-	-	-	0.14	-
		第11週	29.22	0.29	1.83	11.92	1.67	0.13	0.54	0.38	0.13	-	0.58	0.17	-	0.38	-	-	0.29	-
		第12週	17.08	0.29	1.21	11.58	1.25	0.50	0.33	0.54	0.04	0.04	0.71	0.17	-	0.38	-	-	0.14	-
		第13週	11.68	0.29	1.33	11.42	1.21	0.17	0.67	0.46	0.04	-	0.67	0.08	0.13	0.50	-	-	0.14	-
	全国	第11週	17.25	0.38	2.41	9.38	1.72	0.13	0.60	0.48	0.03	0.03	0.97	0.26	0.02	0.44	0.02	0.03	0.32	0.01
		第12週	12.33	0.32	1.77	7.14	1.58	0.12	0.46	0.45	0.03	0.02	0.97	0.19	0.01	0.44	0.02	0.02	0.26	0.02

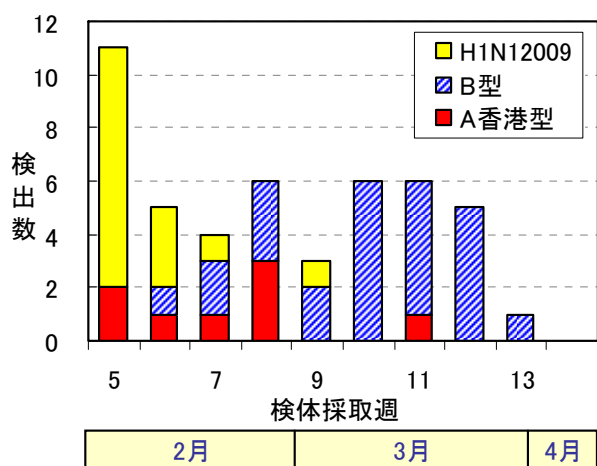
■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(37.2)	32	男	2011/03/21	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型
インフルエンザ	発熱(39.8)	19	男	2011/03/24	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型
インフルエンザ	発熱(39.4)	16	男	2011/03/26	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 気管支炎	6	女	2011/03/18	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスB型
その他の消化器疾患	腹痛 腸重積	4	男	2011/01/23	糞便	アデノウイルス1型
その他の消化器疾患	嘔吐 腸重積	0	女	2011/02/04	糞便	アデノウイルス2型
その他の疾患	発熱(39.7)	8	女	2011/02/28	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるインフルエンザウイルス検出状況



* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分

広島市衛生研究所の検査結果では、3月以降21人の患者からインフルエンザウイルスが検出されています。その型別内訳は、インフルエンザウイルスB型が19人、インフルエンザウイルス(H1N1)2009型が1人、インフルエンザウイルスA香港型が1人となっています。

【お知らせ】新型インフルエンザ(A/H1N1)に係る季節性インフルエンザ対策への移行について(平成23年3月31日 厚生労働省事務連絡)

今般の新型インフルエンザ(A/H1N1)について、「新型インフルエンザ等感染症」と認められなくなったとの厚生労働大臣による公表がありました。

今後は通常の季節性インフルエンザとして取扱い、2011年4月1日から、「インフルエンザ(H1N1)2009」という名称を使用することになりました。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2011年第13週(3月28日~4月3日)